

ポスター発表 ポスター掲示期間 7月14日(土) 8:30 ~ 7月15日(日) 12:30

Poster Session Posting Time Saturday, 14th July 8:30 - Sunday, 15th July 12:30

1号館地下1階1001教室

発表責任者在席時間 Core Time

奇数番号 Odd-number Presentation 14日 13:45~14:45

偶数番号 Even-number Presentation 14日 14:45~15:45

P01 姉がいると母親は手抜き気味に：野生チンパンジーの移動開始において母親および姉はアカンボウを「待つ」

桜木敬子（京都大・野生動物研究センター）

P02 香港，新界地域のマカク属のサルと人間の活動

足立薫（京都産業大学・現代社会）

P03 ニシローランドゴリラにおけるワカオスの社会関係の発達変化

坪川桂子（京都大・理），安藤智恵子（ECOLOGIC）

P04 ギニア・リベリア国境地域でのチンパンジー保全のとりくみ

大橋岳（中部大・人文）

P05 東京都奥多摩湖周辺に生息するニホンザルの群れ「山ふる群」の継続調査

内藤将（株式会社 EGO），島田将喜（帝科大・生命環境）

P06 ガボン，ムカラバ-ドウドゥ国立公園のニシローランドゴリラにおける，核オスの消失後の社会変動

竹ノ下祐二（中部学院大・看護リハ），Etienne François Akomo-Okoué（IRET/CENAREST），坪川桂子（京都大・理），藤田志歩（鹿児島大・共通教育），Ghislain Wilfried Ebang-Ella（IRET/CENAREST），田村大也（京都大・理），Lilian Brice Mangama-Koumba，Patrice Makouloutou，Paul Yannick Bitome-Esso（IRET/CENAREST），山極寿一（京都大・総長）

P07 ヤクシマザルにおける抱擁行動の発達過程—アカンボウからオトナを含めて

田伏良幸（京大・理）

P08 長期観察による屋久島における野生ニホンザルの密度変化

杉浦秀樹（京都大・野生動物研究セ）, 揚妻直樹（北海道大・北方生物圏フィールド科学セ）, 揚妻柳原芳美（Waku Doki サイエンス工房）, 藤田志歩（鹿児島大・共通教育）, 田中俊明（梅光学園大・こども）, 鈴木真理子（鹿児島大・国際島嶼教育研究セ）, 相場可奈（西部林道ヤクシマザル調査会）, 香田啓貴（京都大・霊長類研究所）, 原澤牧子（京都大・野生動物研究セ）, 室山泰之（東洋大・経営）, 清水桃子（西部林道ヤクシマザル調査会）, 川添達朗（中山大・社会学人類学院）, 澤田晶子（中部大・創発学術院）, 杉浦陽子（西部林道ヤクシマザル調査会）, 浅井隆之（（合）南九州野生動物保護管理）, 早石周平（鎌倉女子大・教育）, 久保律子（西部林道ヤクシマザル調査会）

P09 幸島主群ニホンザルにおけるコドモの順位上昇の要因

熊谷美樹（京都大・理）

P10 大隅半島に生息するニホンザル集団の遊動域と群れのまとまり

座馬耕一郎（長野看大・看護）, 竹ノ下祐二（中部学院大・看護リハ）, 藤田志歩（鹿大・共通教育）, 川添達朗（中山大・人類）, 浅井隆之（（合）南九州野生動物保護管理）

P11 ニホンザルの集合性や行動に地形は影響するか

鈴木真理子（鹿児島大・島嶼研）

P12 勝山ニホンザル集団と淡路島ニホンザル集団における個体間距離と遊動域の季節変化

山田一憲, 後藤遼佑, 貝ヶ石優（大阪大・人間科学）, 森光由樹（兵庫県立大・森林動物研究センター）

P13 他群の接近がニホンザルの行動にあたえる影響：屋久島海岸域における音声プレイバック実験

栗原洋介（京都大・霊長研）

P14 勝山ニホンザル集団における生後5カ月と12カ月の孤児を成体メスが養子として育てた事例

中道正之, 大西賢治, 山田一憲（大阪大・人間科学）

P15 神奈川県丹沢地域に生息するニホンザル群の遊動域面積に影響する要因と群間関係について

半沢真帆（京都大・院理）, 安富舞, 加藤卓也, 羽山伸一（日獣生命科学大・獣医）

P16 ニホンザルの同時追跡による個体間距離と活動マッピング

D. スプレイグ（農研機構）, 西川真里（東京大・新領域・日本学術振興会）, 鈴木真里子（鹿児島大・島嶼研）

P17 高崎山ニホンザルにおける母親による子への食物強奪行動

栗田博之（大分市教委・文化財）

P18 日本モンキーセンター・霊長類和名リストの公開

高野智（日本モンキーセンター）, 新宅勇太（京都大・野生研／日本モンキーセンター）, 綿貫宏史朗, 早川卓志（京都大・霊長研／日本モンキーセンター）, 赤見理恵（日本モンキーセンター）

- P19** ニホンザル野生群において母子間関係が infant handling の頻度に及ぼす影響
関澤麻伊沙，沓掛展之（総研大・先導研）
- P20** 野生ニシローランドゴリラのオスにおけるストレスレベルの評価—ストレスは出自群からの移出を誘発するか—
藤田志歩（鹿児島大・共通教育），シメーヌ・ンゼ・ンコグ（IRET/CENAREST），井上英治（東邦大・理），竹ノ下祐二（中部学院大・看護リハ），坪川桂子（京都大・理）
- P21** 1950年代の屋久島における猟師の民俗知識—川村俊蔵博士の野帳の分析より—
服部志帆（天理大学・国際），小泉都（京都大学・学術研究支援室）
- P22** ニシゴリラ幼児における系列学習と作業記憶
田中正之，櫻庭陽子（京都市動物園，京都大・野生研セ）
- P23** 日本に輸入された霊長類：江戸期以降の記録
綿貫宏史朗（京都大・霊長研／日本モンキーセンター）
- P24** 先行提示音がチンパンジーの明るさ判断を歪める
足立幾磨（京大・霊長研）
- P25** 現生マカク属下顎第三大臼歯における形態解析に基づく化石遊離歯の種同定
浅見真生（京都大・霊長研），張穎奇（中国科学院古脊椎動物・古人類研究所），金昌柱（中国科学院古脊椎動物・古人類研究所），高井正成（京都大・霊長研）
- P26** 飼育下の大型類人猿とヒト幼児における定位操作の発達から見た野生での道具使用行動
林美里（京都大・霊長研），竹下秀子（追手門学院大・心理）
- P27** その「しっぽ」はバランサーになってますか？—尾椎形態比較からみたマカクの尾の機能—
若森参，濱田穰（京都大・霊長類研究所）
- P28** コモンマーモセットの養育行動—複数指標からの検討
篠塚一貴，矢野（梨本）沙織，進藤さやか（理化学研究所・CBS），齋藤慈子（上智大・総合人間），黒田公美（理化学研究所・CBS）
- P29** コモンマーモセットの体重に対する産仔数，出生時体重，および母体体重の影響—京都大学霊長類研究所の1つのコロニーの例—
三輪美樹，鈴木比呂美，櫻井彩華，正村聡美，竹本篤史，中村克樹（京都大・霊長研）

- P30 京都市動物園の老齡アカゲザルにおける滞在場所と気象との関連—冬季における経過報告**
櫻庭陽子（京都市動物園，京都大・野生動物研究センター），伊藤二三夫，板東はるな（京都市動物園），田中正之（京都市動物園，京都大・野生動物研究センター）
- P31 ヒト，シロテテナガザル，ニホンザル二足歩行時の体幹回旋角度の比較**
木下勇貴（京都大・霊長研），後藤遼佑，中野良彦（大阪大・人間科学）
- P32 高齡ワオキツネザルの社会活動性は低下するか？**
市野進一郎（京都大・アフリカ研），Perline RANOMENJANAHARY（アンタナナリヴ大・理）
- P33 屋外放飼したヤクシマザル (*Macaca fuscata yakui*)における臓器重量の加齢性変化**
木村直人，山田将也，石田崇斗，星野智紀，舟橋昂（（公財）日本モンキーセンター），新宅勇太，伊谷原一（（公財）日本モンキーセンター，京都大・野生研）
- P34 フクロテナガザルの手つき二足歩行はナックルウォーキングの初期段階か？**
藤野健（東京都老人研）
- P35 Effects of Social and Enriched Housing on Female Lesser Slow Lorises (*Nycticebus pygmaeus*): are lorises more social than we thought?**
J. S. Alejandro Pastrana (Primate Research Institute, Kyoto University), K. Nemoto, R. Dosho (Japan Monkey Centre), M. Huffman (Primate Research Institute, Kyoto University), Y. Yamanashi (Japan Monkey Centre, Kyoto City Zoo)
- P36 チンパンジーに「利き足」はあるか？**
中野良彦（大阪大・人間科学）
- P37 メチル化解析によるチンパンジーの年齢推定**
井上一村山美穂（京都大・野生動物），伊藤英之（京都市動物園，京都大・野生動物），鵜殿俊史，平田聡（京都大・野生動物）
- P38 踵骨による霊長類の体重推定**
鏑本武久（愛媛大・院・理工）
- P39 霊長類学におけるカメラトラップ研究**
本郷峻（京都大・アフリカ研）
- P40 オランウータン臼歯の皺を数量化する**
河野礼子（慶應大・文）

P41 Salivary alpha-amylase enzyme as a non-invasive biomarker of acute stress in Japanese macaques (*Macaca fuscata*)

Nelson BROCHE, Michael A HUFFMAN (Primate Research Institute, Kyoto University)

P42 多変量解析による霊長類音声の比較

平松千尋（九州大・芸工），山下友子（芝浦工大・工），杉野強，中島祥好（九州大・芸工），綿貫宏史朗，友永雅己（京都大・霊長研，日本モンキーセンター）

P43 アカテタマリン胸部最長筋および腸肋筋の筋束構成

小島龍平（埼玉医大・保健医療）

P44 動物園における行動観察実習後の追跡調査

赤見理恵（（公財）日本モンキーセンター）

P45 霊長類大腿屈筋群の比較解剖学的観察

小池魁人，時田幸之輔，小島龍平（埼玉医大・保），平崎鋭矢（京都大・霊研）